

# W32-LS100-RS

# コニカミノルタセンシング

## 輝度計

# LS-100/LS-110

使用できる機種 LS-100, LS-110

LS-100, LS-110は、コニカミノルタジャパン(株)の商標です。

品番	接続方法	価格	動作環境
W32-LS100-RS	RS-232C USB (変換器使用)	65,000円	Win Vista/7/8.1/10 (32bit or 64bit) Excel2007/2010 2013/2016 (32bit only)

### 機能



#### ・データロガーとしての活用

指定された時間間隔で指定された個数のデータをリアルタイムにExcelシートに取込みます。最大200,000回までのデータが連続して取り込めます。

#### ・輝度分布測定への活用

測定部位を取り換えながら、個々のデータをExcelシートに取込みます。

#### ・面倒な測定条件の数値設定も全てパソコンから行うことができます。

「100%基準値」「任意校正基準値」「色補正係数」などの設定はパソコンから設定することができます。また、「測定モード」「校正スイッチ」「応答速度」などの切替もパソコンから行います。

注1)LS-100/LS-110とパソコンを接続するための接続ケーブル(LS-A15)を別途ご購入いただく必要があります。

### 概要

本プログラムはExcel上のアドインとして動作します。Excel上から本アドインを起動すると、Excelシート上に、このウィンドウが現われます。測定条件を設定し「START」ボタンをクリックするとデータの取り込みを開始します。

スタートすると、測定条件を設定した後、指定された時間間隔で、指定されたサンプル数のデータを取込みます。必要なら日付時刻も付加することもできます。

Excelシートに取込んだデータは、キーボードから入力したデータと同じように、Excelの機能を利用して、作図・編集・計算等を自由に行うことができます。また、事前にデータが取込まれる領域をExcelのグラフウィザードで設定しておけば、データ取込とグラフ化がリアルタイムに行えます。  
※本アドインに自動グラフ作図機能はありませんので、Excelのグラフウィザードを使用して作図してください。

### 操作説明

測定中は「赤色」、ポーズ中は「青色」、停止中は「灰色」となります。

輝度計の測定データをExcelに取込を開始します。この時、輝度計の測定条件の変更は一切行わず現在の設定条件のまま測定値を取り込みます。下記に入力した測定条件で輝度計を設定するためには「モニタ開始」をクリックする必要があります。また、「PAUSE」を先に押してから「START」を押すとスポット測定モードになります。

「モニタ開始」ボタンをクリックすると、測定値がこの欄に繰り返し表示されます。

「PRESET」「VARI(LUMI)」「VARI(C.C.F)」「VARI(C.C.F/LUMI)」から選択します。

任意補正基準値を入力します。

色補正係数を入力します。

測定モードを選択します。

輝度比率測定のための「100%基準値」を入力します。

応答速度を選択します。「FAST」では約1.5sec、「SLOW」では約2secが最速のデータ取込時間間隔になります。

瞬時値測定かピーク値測定かの選択をします。

データの取込を一時中止します。もう一度クリックすると、取込を再開します。

データの取込を停止します。

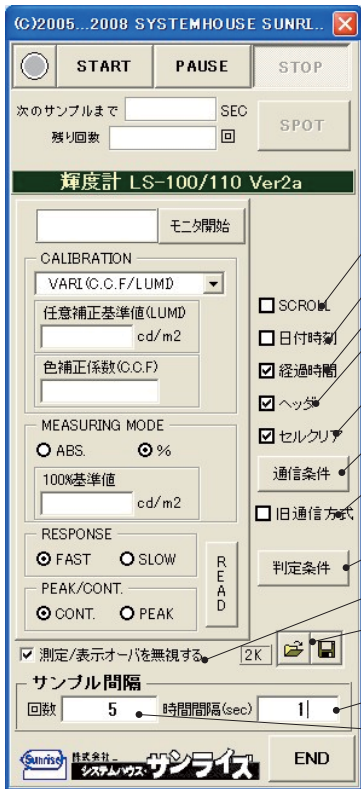
「PAUSE」中、有効となり、クリックする毎にデータを取り込みます。スポット測定モードでは、データの取込に使用します。

測定中、間欠時間が2秒以上の時、サンプリングまでの残り時間をカウントダウンします。

測定中、取込の残り回数を表示します。

下記に入力した測定条件を輝度計に設定するためには、この「モニタ開始」ボタンをクリックする必要があります。「START」ボタンをクリックしても輝度計には測定条件の設定は何も行われません。下記の測定条件を輝度計に設定した後、測定値モニタが開始され、その測定値が左のテキストボックスに繰り返し表示されます。もう一度クリックすると、モニタを停止します。なお、モニタ中は「START」ボタンは無効になりますから、モニタを停止した後「START」をクリックしてください。

輝度計に設定されている「任意補正基準値」「色補正係数」「100%基準値」を読み込み、それぞれの欄に表示します。現在の設定値を確認するために使用します。

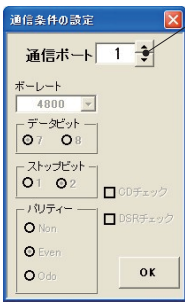


- データの入力と共にシートをスクロールします。
- データに日付時刻を付加します。
- 測定開始後の経過時間を付加します。
- 最初のデータ取込時、測定項目名等のヘッダを付加します。
- 測定値をExcelに入力する場合、事前にそのExcelセルの書式を標準に戻します。もし、手で設定したExcelセルの書式をそのまま使用したい場合はチェックを外します。
- 通信ポート番号だけの変更が可能です。その他の条件は固定されています。(下図参照)
- もし、LS-100の購入時期が古く、古い通信方式しかサポートされていない場合は、ここにチェックをつけます。輝度計の「F」キーを押しながら電源をONにして輝度計ディスプレイに「F」が表示されない場合は、古い通信方式しかサポートされていません。
- 判定値を入力します。判定値を外れたデータはExcelシートに赤色でデータが表示されます。(下図参照)
- 測定値が「測定範囲オーバー」「表示範囲オーバー」となった場合でも、Excelシートに「OVER」と表示し測定を継続します。チェックを外すと、上記エラーが発生すると測定を中止します。
- 画面上の測定条件を保存または読み出します。
- データを取込む時間間隔(秒)を入力します。何も入力が無い場合やゼロが入力された場合は、最速でデータを取り込みます。入力できる最大時間は、36,000秒です。
- データを取込む回数を指定します。但し、「STOP」ボタンでいつでも中止できます。また、何も入力されていないときは、200,000回と解釈されます。入力できる最大回数は、200,000回です。

**注)本ソフトをご使用いただくための注意事項**

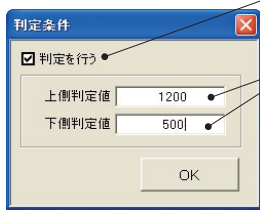
本ソフトを使用して、輝度計からのデータ取得するためには、必ず、輝度計の「F」キーを押しながら電源をONにしてください。詳細は、輝度計付属の取扱説明書を参照ください。古い通信方式の場合は、この必要はありません。

**通信条件**



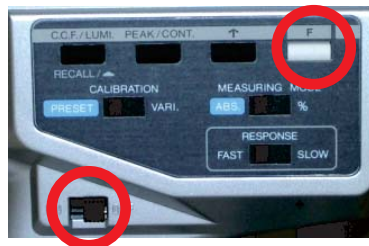
通信ポートの変更だけが可能です。

**判定条件**



判定を行う場合にチェックを付けます。

判定の上限值と下限値を入力します。どちらかが空欄の場合は、その判定は行われません。



**スポット測定モードの使用法**

「PAUSE」ボタンを先にクリックして、その後「START」ボタンをクリックすると「スポット測定モード」になります。測定器の設定が行われた後、「SPOT」ボタンのクリック待ちとなります。「SPOT」ボタンをクリックする毎にデータがExcelシートに取込まれます。この時「SPOT」ボタンをクリックする代わりに「スペース」キーを押しても同様の結果となります。この「スポット測定モード」では、「経過時間」の欄には1.2.3...と「連続番号」が入力されます。例えば、測定部位を変更しながら、個々の部位の測定を行う場合に便利です。「スポット測定モード」を終了するためには、「STOP」ボタンをクリックします。

**USB-RS232C変換器の使用について**

パソコンに「輝度計」と接続できるRS232Cポートの空きがない、または、ノートパソコンにRS232Cポートが装備されていない場合、パソコンのUSBポートをRS232Cに変換して、「輝度計」のRS232Cポートに接続します。

「USB-RS232C変換器」は、ユーザ側で市販のものをご用意ください。本商品には含まれておりません。

当社では、下記の「USB-RS232C変換器」で動作確認をしております。

また、各変換器に付属するインストールガイドに従って変換器のドライバを適切にインストールしてください。正常にインストールした後、その時に割り当てられたポート番号を確認し、上記の「通信条件の設定」のRS232Cポートに、その番号を設定します。

コニカミノルタセンシング製  
LS-A15 (ACアダプタ付き)  
38,000円(参考価格)  
注)古い通信方式では、LS-A11をご使用ください。

製造会社 ラ トックシステム(株)  
製品名 USB-シリアルコンバータ  
品番 REX-USB60F  
価格 5,800円

